

科目ナンバー： 研究・CNS：MC3013／助産：MmC3013

授業コード： 6630300100

講義科目名称： 母性看護学特論

英文科目名称： Advanced Maternal-Infant Nursing

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	1・2学年	2単位	選択 助産師必修
担当教員			
◎常盤洋子、増澤祐子			
添付ファイル			

授業種類	【開講】 前期	【授業時間】 30時間		
	【担当教員】			
	【氏名】 ◎常盤 洋子 増澤 祐子	【所属】 新潟県立看護大 同上	【研究室】 320 311	【メールアドレス】 yotokiwa@niigata-cn.ac.jp masuzawa@niigata-cn.ac.jp
	【大学の科目区分】 専門分野			
	研究	【DP1】	【DP2】	【DP3】
	CNS	◎	○	○
	助産	○	○	◎

到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 母性・父性意識の概念、親になるプロセスと親役割理論、母親役割獲得に関する理論を説明できる。 母子のアタッチメント理論、母子関係理論を説明できる。 Transition theory、アイデンティティ発達理論を説明できる。 母性看護で用いられる理論の本質と意義を説明できる。 母性看護学の基盤となる理論の臨床活用について述べる。
------	---

授業概要	母性看護学の基盤となる理論に関する研究論文や原著を精読し、母性看護学・助産学研究や母性看護の実践への活用についてのディスカッションを通して、理論の本質や母性看護学・助産学研究の枠組みについて考察する。
------	--

授業計画	<p>1 授業内容 授業形態：講義 学修課題：母性・父性意識の概念、母親意識・父親意識、アタッチメント理論、母子関係理論の理解 学修内容：母性看護学・助産学研究の基盤となる母性・父性、母親意識・父親意識の概念、愛着理論の概要とサークル・オブ・セキユリティー理論、母子関係理論と臨床活用 事前学修：母性の概念や母親役割、愛着理論とサークル・オブ・セキユリティー理論、母子関係理論に関する文献を読み、授業に臨む 事後学修：母性意識、母親意識、愛着理論とサークル・オブ・セキユリティー理論、母子関係理論に関する文献を検索する 備考：常盤</p> <p>2 授業内容 授業形態：講義 学修課題：親になるプロセスと親役割理論に関する文献検討 学修内容：親になるプロセスと親役割理論、母親役割獲得に関する理論と臨床活用 事前学修：母親役割・父親役割に関する文献を読み、授業に臨む 事後学修：母親支援・父親支援に関する文献を検索する 備考：常盤</p> <p>3 授業内容 授業形態：演習 学修課題：アタッチメント理論・母子関係理論に関する文献検討 学修内容：愛着理論の概要とサークル・オブ・セキユリティー理論、母子関係理論と臨床活用 事前学修：アタッチメント理論と母子関係理論に関する文献を読み、臨床活用について検討する 事後学修：アタッチメント理論と母子関係理論に関する文献を読み、臨床活用について考察する 備考：常盤</p> <p>4 授業内容 授業形態：演習 学修課題：親になるプロセスと親役割理論に関する文献検討 学修内容：親になるプロセスと親役割理論、母親役割獲得に関する理論と臨床活用 事前学修：母親役割・父親役割に関する文献を読み、臨床活用について検討する 事後学修：母親支援・父親支援に関する文献を読み、臨床活用について考察する 備考：常盤</p> <p>5 授業内容</p>
------	--

	<p>授業形態：発表・討論 学修課題：母親支援、父親支援、親支援、アタッチメントの形成支援にかかわる理論の臨床応用 学修内容：母親・父親支援、母子・父子関係構築に関する理論と臨床応用 事前学修：母親・父親支援、母子・父子関係に関する文献を読み、臨床応用に関する討議資料の作成 事後学修：母親・父親支援、母子・父子関係に関する理論の臨床応用に関する知見の整理 備考：常盤</p>
6	<p>授業内容 授業形態：講義 学修課題：Transition theoryとMaternal identityの発達理論 学修内容：Transition theoryとMaternal identity発達理論の理解と臨床活用 事前学修：Transition theoryとMaternal identity を構成する要素について文献を読み、授業に臨む 事後学修：Transition theoryとMaternal identity発達理論に関する文献を検索する 備考：常盤</p>
7	<p>授業内容 授業形態：演習 学修課題：Transition theoryとMaternal identityの発達理論に関する文献検討 学修内容：Transition theoryとtheory、Maternal identityの発達理論を活用した母親支援 事前学修：Transition theoryとMaternal identityの発達理論に関する文献を読み、臨床活用について検討する 事後学修：Transition theoryとMaternal identityの発達理論の臨床活用について考察する 備考：常盤</p>
8	<p>授業内容 授業形態：発表・討議 学修課題：Transition theoryとMaternal identityの発達理論の臨床応用 学修内容：Transition theoryとアイデンティティの発達理論を活用した母親支援における課題 事前学修：Transition theoryとMaternal identityの発達理論の臨床応用に関する討議資料の作成 事後学修：Transition theoryとMaternal identityの発達理論の臨床応用に関する知見の整理 備考：常盤</p>
9	<p>授業内容 授業形態：講義 学修課題：健康生成論 (Salutogenesis) と首尾一貫感覚 (Sense of Coherence) の理解 学修内容：健康生成論 (Salutogenesis) と首尾一貫感覚 (Sense of Coherence) の理解と臨床活用 事前学修：健康生成論を構成する要素について文献を読み、授業に臨む 事後学修：健康生成論と首尾一貫感覚に関する文献を検索する 備考：増澤</p>
10	<p>授業内容 授業形態：演習 学修課題：健康生成論 (Salutogenesis) と首尾一貫感覚 (Sense of Coherence) に関する文献検討 学修内容：健康生成論と首尾一貫感覚を活用した母親支援 事前学修：健康生成論と首尾一貫感覚に関する文献を読み、臨床活用について検討する 事後学修：健康生成論と首尾一貫感覚の臨床活用について考察する 備考：増澤</p>
11	<p>授業内容 授業形態：発表・討議 学修課題：健康生成論 (Salutogenesis) と首尾一貫感覚 (Sense of Coherence) の臨床応用 学修内容：健康生成論と首尾一貫感覚を活用した母親支援における課題 事前学修：健康生成論と首尾一貫感覚の臨床応用に関する討議資料の作成 事後学修：健康生成論と首尾一貫感覚の臨床応用に関する知見の整理 備考：増澤</p>
12	<p>授業内容 授業形態：講義 学修課題：行動変容ステージモデルと保健行動理論の理解 学修内容：行動変容ステージモデルの5つの概念と保健行動理論の臨床活用 事前学修：行動変容ステージモデルと保健行動理論について文献を読み、授業に臨む 事後学修：行動変容ステージモデルと保健行動理論に関する文献を検索する 備考：増澤</p>
13	<p>授業内容 授業形態：演習 学修課題：行動変容ステージモデルと保健行動理論に関する文献検討 学修内容：行動変容ステージモデルと保健行動理論を活用した母親支援 事前学修：行動変容ステージモデルと保健行動理論に関する文献を読み、臨床活用について検討する 事後学修：行動変容ステージモデルと保健行動理論の臨床活用について考察する 備考：増澤</p>
14	<p>授業内容 授業形態：発表・討論 学修課題：行動変容ステージモデルと保健行動理論の臨床応用 学修内容：行動変容ステージモデルと保健行動理論を活用した母親支援における課題 事前学修：行動変容ステージモデルと保健行動理論の臨床応用に関する討議資料の作成 事後学修：行動変容ステージモデルと保健行動理論の臨床応用に関する知見の整理 備考：増澤</p>
15	<p>授業内容 授業形態：発表・討論 学修課題：母子支援に活用できる理論とその臨床活用 学修内容：自身の研究テーマに関連した母子支援に活用できる理論とその臨床活用</p>

	<p>事前学修：自身の研究テーマに関連した母子支援に活用できる理論の臨床活用に関する討議資料の作成</p> <p>事後学修：自身の研究テーマに関連した母子支援に活用できる理論の臨床活用に関する知見の整理</p> <p>備 考：常盤・増澤</p>
事前・事後学習	
評価方法、評価基準	到達目標 1～5に対して、授業および討論への主体的参加を重視し、発表50%、レポート50%より評価する。
テキスト	最新の論文や文献を使用するため、テキストは現時点では指定せず授業内で案内する。
参考図書・資料等	<p>ルヴァ・ルービン、新藤幸恵訳（1997）：母性論 母性の主観的体験，医学書院。</p> <p>ボウルビィ、二木武監訳（1993）：母と子のアタッチメント 心の安全基地，医歯薬出版。</p> <p>数井みゆき（編）（2012）：アタッチメントの実践と応用 医療・福祉・教育・司法現場からの報告，誠信書房。</p> <p>Reva Rubin（1984）：Maternal Identity and the Maternal Experience, Springer Pub Co.</p> <p>John Bowlby（1988）：A Secure Base, Routledge.</p> <p>Afaf Ibtahim Meleis（2010）：Transitions Theory, Springer Publishing Company.</p>
受講、課題、資料配布等のルール	<p>欠席の場合は必ず指導教員に事前に連絡をする。</p> <p>発表を行う学生は、授業前に人数分のコピーをする。</p> <p>発表、討論は学生が進行する。</p> <p>母性看護学・助産学の基盤となる理論に関する論文や文献を活用して発表資料を作成する。</p>
教員からのメッセージ	母性看護に関する理論をより深く理解するための科目である。理論を読み解くには時間がかかるが、一つひとつの語句や文章を丁寧に読むことで、理論の本質把握を試みる。
オフィスアワー	在室時は可能な限り対応する。事前にメール等で調整すること。